

令和3年度 情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「最新 社会と情報 新訂版」(実教出版)						
副教材等	「最新 社会と情報 新訂版 学習ノート」「Excelで学ぶプログラミング」(実教出版)						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

1年の「情報の科学」で学んだ内容をさらに深めていきます。「情報」とは何かを考え、私たちの身の回りの問題を考え、解決する方法を探っていきます。まずは身近な「情報」の取り扱い方から考え学び、情報を伝達する技術を身に受け、身近な問題を解決する方法を1年を通じて学習していきます。1年生でコンピュータの操作がまだ不慣れな人は、各個人で扱える技術を身につけておきましょう。

2. 学習の到達目標

- ・高度情報社会にむけて、問題を発見し、解決する力を身につける
- ・情報の取り扱い方を考え、適切に取り扱い活用する技能を身につける
- ・高度情報社会にむけての情報モラルを身につける。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評 価 方 法	授業内の課題への取り組み及び、提出物、作成データの管理などで判断します。	授業内の課題制作、小テスト、成果物、ワークの提出などで判断します。	課題制作、成果物の提出、継続的な取り組みを記録しその上達度で判断します。	授業内の課題制作、小テスト、成果物、ワークの提出などで判断します。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	情報モラルと社会のルール 情報社会の問題 問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の意味と個人情報保護法について理解する。 ・個人情報の漏洩の実態、防止対策について学ぶ。 ・知的財産権の構成について理解する。 ・産業財産権の種類と内容について事例を通じて理解する。 ・著作権の構成と各権利の内容、及び例外規定について理解する。 ・著作権の構成と各権利の内容、及び例外規定について理解する。 ・コンピュータを活用しプログラム言語を用いた問題解決を行う。 	◎	○	◎	○	<p>a: 個人情報の保護に関心を示し、管理しようとする態度があるか。</p> <p>b: 知的財産権の権利の相違を判断できるか。</p> <p>c: 個人情報を管理する技能があるか。</p> <p>d: 個人情報の概念や、個人情報保護について理解しているか</p>	学習ノート 配布プリント 小テスト 成果物
2	表現と伝達	<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達する際の留意点について学ぶ。 ・チラシや案内状の作成を通じてわかりやすい情報伝達について学ぶ。 ・レポートの作成を通じて、文字・表・図形・画像などを工夫して利用する。 ・表計算ソフトの関数の利用について理解する。 ・表計算ソフトの検索用関数(VLOOKUP関数等)を利用して、条件に合ったデータの検索について実習で学ぶ。 ・プレゼンテーション実施の流れについて学ぶ。 ・プレゼンテーションのリハーサルや実施上の留意点について理解する。 ・プレゼンテーションの評価方法について学ぶ。 ・静止画と動画の利用効果について実習を通じて学ぶ。 ・画像と音声の利用効果について実習を通じて学ぶ。 	○	◎	◎	○	<p>a: ・わかりやすく情報伝達しようとする意欲が見られるか。</p> <p>b: 目的や対象を明確にして、表現やデザインの工夫を行っているか。</p> <p>c: ・図やグラフなどを使用して、わかりやすく表現できるか。</p> <p>d: 情報を伝達する際の注意事項について理解しているか。</p>	学習ノート 配布プリント 小テスト 成果物

